



～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

1学期を終えて

- 1学期が終わろうとしています。新学期当初は、新型コロナウイルス感染症の影響による登校停止措置で、ご家庭には大変なご負担をおかけしました。おかげさまでその後はどうか学校生活も軌道に乗り、1学期に実施した教育活動は、それぞれの成果を上げて終わることができます。保護者・地域の皆様には本校教育への変わらぬご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。
- 1学期は「3年ぶり」となる教育活動が数多くありました。3年ぶりに広島での平和学習に取り組めた修学旅行、4泊5日フルに活動できた自然学校を始めとして、図書ボランティアの皆様による読み聞かせ、赤米の田植え、音楽朝会、体育館での児童集会等々、様々な活動を再開することができました。そして、そのたびにそれぞれの活動の教育的な意義を改めて実感し直すこととなりました。子どもたちの豊かな体験と学びが戻ってきたことは、本当にありがたいことです。
- 地域の方々との、ある会の中で、本校の生徒指導担当教員が「八鹿っ子たちは規範意識が高いです。」と話しました。子どもたちの生活ぶりを見ている私自身も納得するとともに、職員がこのように子どもたちを見つめていることをとても嬉しく思いました。依然として様々な制限がある中で、子どもたちはしっかりと状況を理解し、自分らしさを輝かせながらがんばり続けた1学期でした。



川は岸のために流れているのではない 川のために岸ができているのである

東井義雄

- つい最近の1年生の学級通信に「自学に取り組みます」と書いてありました。入学した4月の1年生の様子を思い返せば、1学期にしっかりと学んで自主学習に取り組む段階にまで、よくぞ成長したものだと言います。1学期、ひとりひとりの子どもにはそれぞれの成長がありました。形に現れ、目に見えるような成長もありますが、それだけでなく、目に見えないような形でのゆっくりとした成長もあったことでしょう。
- 「這えば立て、立てば歩めの親心」とは子どもの成長を願う親の心を表した言葉だと思います。しかし、ともすれば私たち大人は、子どもの成長を喜ぶ間もなく、次から次へと大人の期待を押しつけてしまう傾向もあります。
- 子どもたちが「のびしろしかない」成長過程にあることを忘れずに、まずは1学期の子どもの成長を見つけ、伝え、ともに喜んでやってください。その上で、これからの「のびしろ」の開拓に向けて、周りの大人が適切に支援していくこと。それが東井先生のおっしゃる「川のための岸」となるのだと思います。
- 明日、子どもたちに「あゆみ」を渡しますが、「あゆみ」でお伝えできるのは子どもの一面だけです。「あゆみ」に対する本当のねうちは、むしろお家の方からの言葉かけひとつで大きく変わってくるものだと思います。どうかご家庭でも、よりいっそう子どもの励みとなる言葉かけをしていただきますよう、お願いします。

こんな夏休みにしてほしい

自分は自分の主人公 世界でただ一人の自分を創っていく責任者

7・8月の「東井先生の言葉」

今年の夏休みは35日間あります。ご家庭では、子どもの自立・自律の力を養う絶好の機会となります。親子のコミュニケーションをしっかりととりながら、子どもの自己決定と、それに基づく主体的な生活を支援していただきたいです。チャイムも時間割もない（自由な）時間は、まさに「自分は自分を創っていく責任者」としての実践の場です。

新型コロナウイルス感染症予防や熱中症予防を継続し、健康第一に過ごすとともに、ぜひとも「よろこびの生まれる夏」にしてください。学校では次のような夏休みを願っています。

- 「起きる」「食べる」「学習する」「寝る」の4つの時間をくずさず、規則正しい生活を送ること
- 社会や地域の一員として、きまりやルールを守ること
- 普段はできない経験や体験、挑戦をすること
- 何か一つでも誇れるもの（自慢できるもの）をつくること
 - ※ やりとげたこと、できるようになったこと、続けたこと、がまんしたこと、熱中したことなど
- 自分で決めて、それを自分の力で実行する経験をすること
- 人によろこんでもらえるようなこと、人の役に立つようなことができること

「そうあんくんお手伝い大作戦」実行！

1学期中は「そうあんくんの日」における積極的な取組、本当にありがとうございました。毎回「そうあんくん新聞」に記されている子どもたちと保護者の皆様の感想を読むたびに、ご家庭でその意義をしっかりと理解し、実践してくださっていることが伝わってきます。

夏休みには「そうあんくんお手伝い大作戦」を実行します。普段とは少し違うお手伝いがたくさんできるのが夏休みです。毎日こつこつ続けたり、地域の行事や地区の仕事を手伝ったりと、この時期にしか体験できないことに挑戦してみてください。働く体験から新しい自分や家族・地域の良さを発見できる、そんな夏休みをつくっていただけるように願います。ご家族のみなさま、地域のみなさま、どうぞご協力をよろしく願いたします。



夏休み、自分で決めて助けよう そうあんくん おてつだい大作戦																																				
学年	名前	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	合計			
1年	山田																																			
2年	田中																																			
3年	佐藤																																			
4年	鈴木																																			
5年	高橋																																			
6年	渡辺																																			
合計																																				

- 夏休みは、100ポイントをめざしましょう。
- 表にないお手伝いは、家族や地域の方と相談して内容やポイントを決めましょう。
- お手伝いをしたら、働いたポイントの数だけ色をぬりましょう。
- 地域でのボランティアや奉仕作業などに参加して、もらったポイントもOKです。
- 100ポイントをこえたら新しいカードを準備しています。校長室まで取りに来てください。

■ タブレットの持ち帰りについて

2年生以上は夏休み中にタブレットを持ち帰り、家庭での学習に活用します。課題や、アプリの使い方等の制限については、各学年から指示を出しています。市より貸与されているものですのでくれぐれも大切に使用してやってください。

特に気をつけていただきたいのが、ネットを通じたメールやSNSの使用です。この点については学年を問わず禁止しております。ご家庭でも上手にタブレットを使えているか、確認してやっていただきたいと思えます。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。